





## 生徒の作問の傾向

- 1 生徒自身が自ら気づき、説明的な文章の学習を選択。
- 2 言語の知識についても、適宜選択。

単元	教材	作問内容	学習内容
1.4	国語のついで	2	国語のついで(1)の国語のついで
	国語のついで	2	国語のついで(2)の国語のついで
	国語のついで	2	国語のついで(3)の国語のついで
	国語のついで	2	国語のついで(4)の国語のついで
	国語のついで	2	国語のついで(5)の国語のついで
	国語のついで	2	国語のついで(6)の国語のついで
	国語のついで	2	国語のついで(7)の国語のついで
	国語のついで	2	国語のついで(8)の国語のついで
	国語のついで	2	国語のついで(9)の国語のついで
	国語のついで	2	国語のついで(10)の国語のついで
2.4	国語のついで	11	国語のついで(11)の国語のついで
	国語のついで	11	国語のついで(12)の国語のついで
	国語のついで	11	国語のついで(13)の国語のついで
	国語のついで	11	国語のついで(14)の国語のついで
	国語のついで	11	国語のついで(15)の国語のついで
	国語のついで	11	国語のついで(16)の国語のついで
	国語のついで	11	国語のついで(17)の国語のついで
	国語のついで	11	国語のついで(18)の国語のついで
	国語のついで	11	国語のついで(19)の国語のついで
	国語のついで	11	国語のついで(20)の国語のついで

生徒は自ら国語の学習を選択して復習

## 生徒の学習の振り返りより

「1・2年の教科書を使いながら内容を思い出すと、**新聞にも国語の要素がたくさんある**ことがわかりました。」

「今回作る側になってみるとけっこう**身近なもの・言葉に授業で学んだことが使われている**のだと思ったので、新聞以外にも本などよむときに少しでも考えながらやってみるともっと読み取る力や文法など理解ができるようになるなと思いました。」

国語で学んだことを生かせる  
身近な場に気付いた

## 成果

- 1 国語の学習を振り返る際に、**国語の読む力や、言語の力に焦点を当てて振り返ることができた**
- 2 **身近な新聞を活用して、読むことや問題作成を通して書くことなど、様々な力を試し、確認することができた**

生徒は国語の力を実感

## 課題

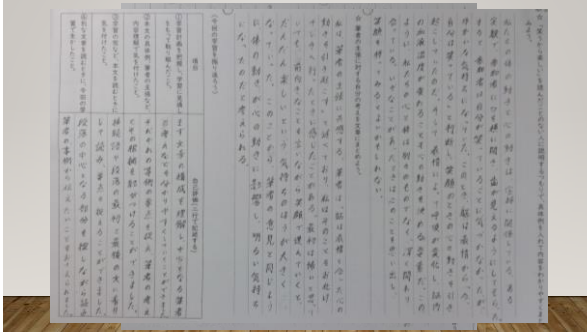
- 1 学習を振り返ることが主であるので、**改めて生徒に付ける力としての想定が弱い**

振り返ったことをもとに  
発展的に生徒にどんな力についてほしいかを焦点化

## 実践の内容①～単元について～

## 実践の内容②～「新しい学び」～

- 1 **小学校の教材を読む活動を通して、学習した国語の力を実感できる**
- 2 **一度読んだことがある小学校の教材は、文章を読むことが苦手な生徒にとっても取り組みやすい**



## 生徒の学習の振り返りより

「(別な文章でも)文章を要約する際の、**中心の文をしっかりと見つけ、話の流れを意識しながら、読み進めていくことができた。**」

「学習の窓で、要約に必要な情報や中心となる文が書かれている部分について**学んだから、それを意識して読んだ**」

**別な文章を読むときにも、国語の学習を生かして読むことができた**

## 成果

- 1 小学校の教材を読む活動を通して、**学習した国語の力を実感できた**
- 2 小学校の教材に**抵抗感なく、学習を生かして取り組むことができた**

**生徒は国語の力を実感**

## 課題

- 1 小学校教材が本当に今の中学生に合ったものであるかは、選択する際に吟味する必要がある

**根拠を明確にした  
小学校教材の選択が必要**

## 補足

